

お客様へ

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

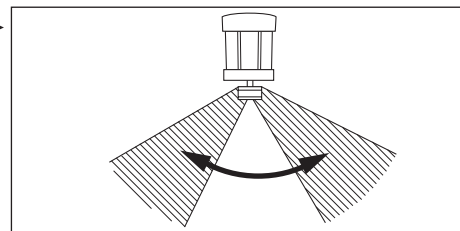
工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

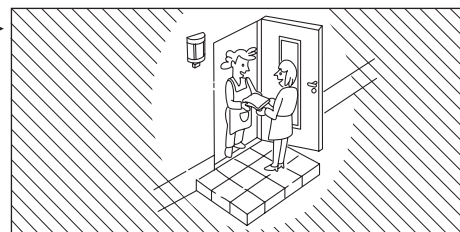
センサー機能

センサーが人を感知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(約60秒)経過後、消灯します。
センサー部が可動できるので、照明器具の設置場所やアプローチの状況に合わせて最適な感知エリアを設定できます。
隣家や前面道路などを感知エリアからはずしたい時に便利です。



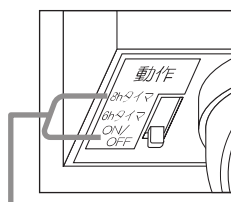
強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチを「OFF」にして3秒以内に「ON」にすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときには一旦壁スイッチを「OFF」にし、5秒以上経過後、再び「ON」にするとセンサー動作に戻ります。



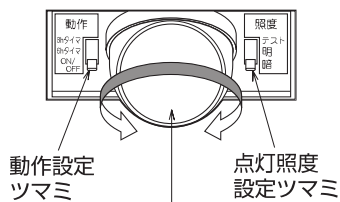
センサー各部の名称

〈左側〉



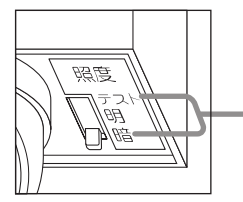
動作設定ツマミを動かすことで「ON/OFF」、「6hタイマ」、「8hタイマ」の3つのセンサーモードが設定できます。

〈正面〉



感知部
約270°回転しますので
感知エリアの調整が
できます。

〈右側〉



点灯照度設定ツマミを動かすことで
センサーが動作する明るさの設定と
感知エリア確認(テストモード)が
できます。

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアをせまくできます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P.2を参照してください。)

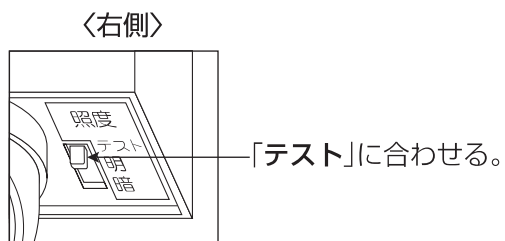
エリアマスク
貼り付け位置

この説明書は必ずお客様にお渡しください

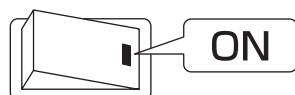
初めて使う時・・・テストモード(感知エリアを確認する)

テストモードにすると、昼間・夜間に関係なくセンサーの感知エリアに入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後消灯します。

1. センサー右側の点灯照度設定のツマミを「テスト」に合わせる。



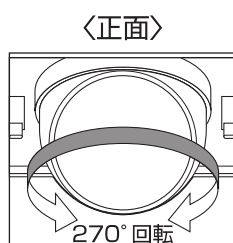
2. 壁スイッチを「ON」にする。



注) 壁スイッチを「ON」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

強制点灯(約30秒)後、テストモードになります。
周囲の明るさに関係なく、人体を感知すると約5秒間ランプが点灯するので感知エリアを確認してください。

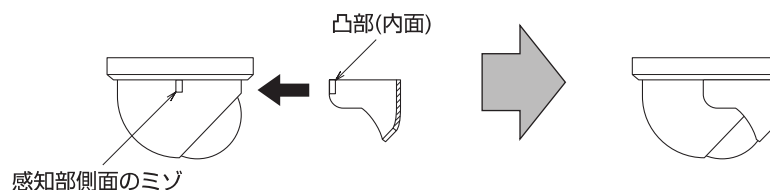
3. センサーの感知部を動かし、感知エリアを決める。



注) 感知エリアの近くに人や車が通る道などがあると、センサーが感知し、ランプが点灯する場合があります。
この時はセンサーの感知部に「エアーマスク」を取付けて、感知エリアをせまくできます。

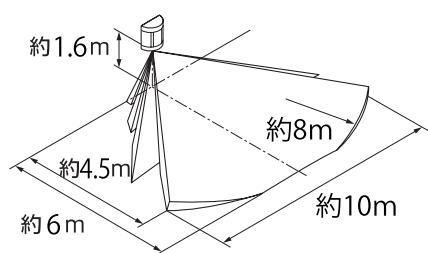
〈エアーマスクの取付方法〉

下図のようにエアーマスクの凸部を感知部側面のミゾにはめてください。

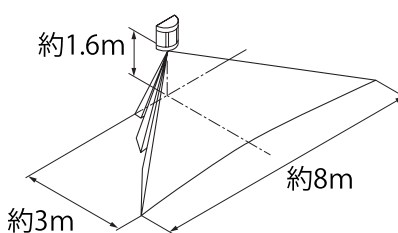


〈センサーの感知エリア〉

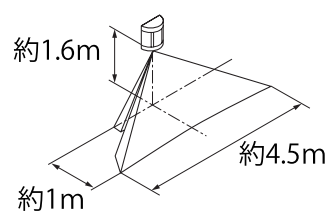
感知部を正面にした時



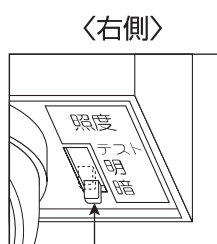
感知部を正面にし、「エアーマスクA」を取付けた時



感知部を正面にし、「エアーマスクB」を取付けた時



4. センサーが動作する明るさを決める。



センサー右側の点灯照度設定のツマミを「暗」又は「明」に合わせる。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。

また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)

→「暗」に合わせてください。

夕方やや明るい時から点灯させたい。

また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)

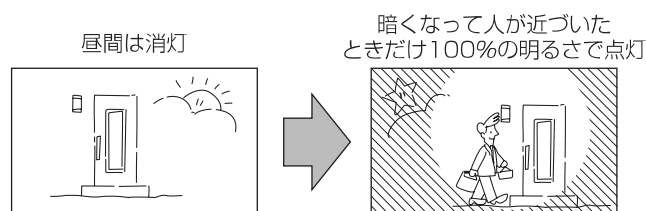
→「明」に合わせてください。

こんな使い方ができます

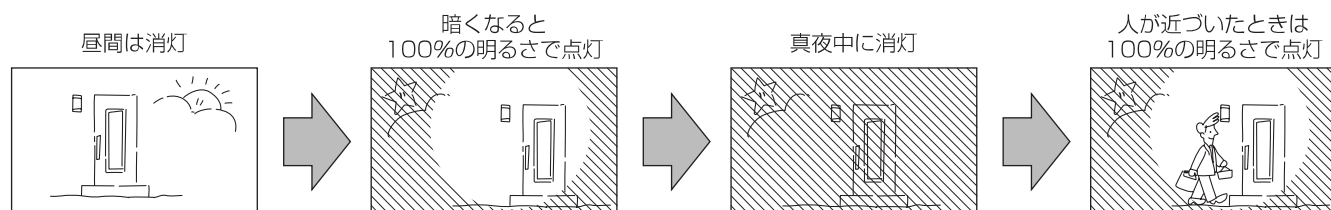
壁スイッチをONの状態でご使用ください。

「動作設定」のツマミを動かすことで「ON/OFFモード」、「6hタイマーモード」、「8hタイマーモード」で使うことができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

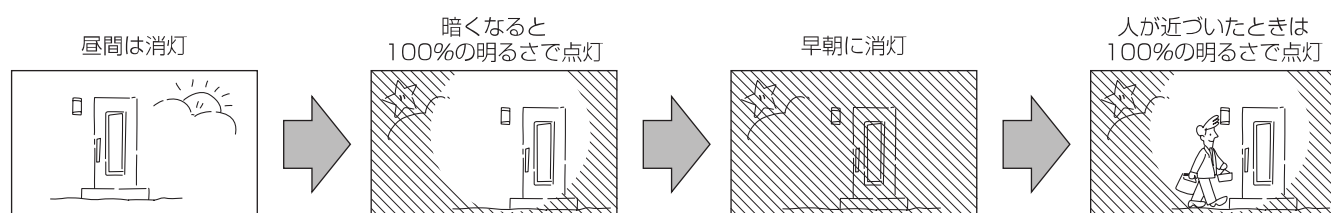
人が来たときだけ明るくしたい → ON/OFFモードの設定へ



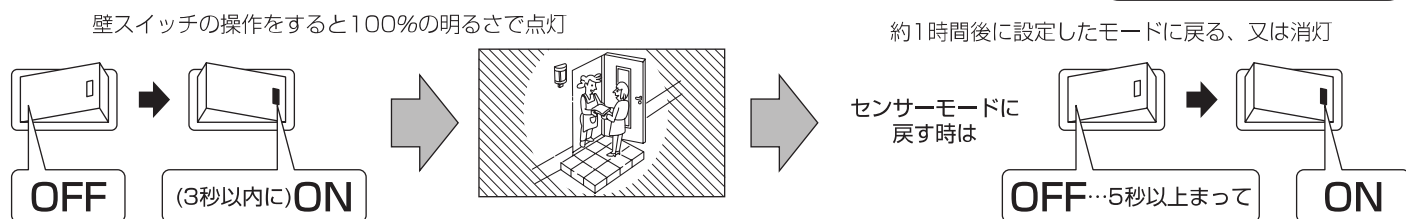
暗くなると自動点灯＋夜中は省エネ＋人が来たときは明るく → 6hタイマーモードの設定へ



暗くなると自動点灯＋早朝まで点灯して防犯＋人が来たときは明るく → 8hタイマーモードの設定へ



好きな時に照明を点灯させたい → 強制ONモードの操作へ



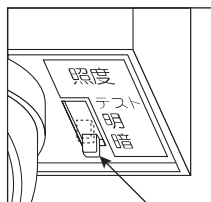
動作設定方法

ON/OFFモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

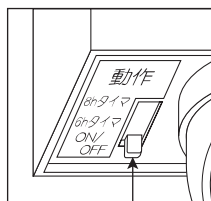
注) 「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

〈右側〉



「暗」又は「明」になっている

〈左側〉



「ON/OFF」に合わせる

2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「ON/OFF」に合わせる。

6hタイマーモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注) 「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

〈右側〉



「暗」又は「明」になっている

〈左側〉



「6hタイマー」に合わせる

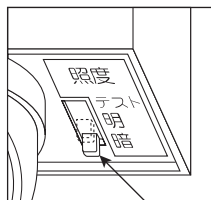
2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「6hタイマー」に合わせる。

8hタイマーモードの設定

1. センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

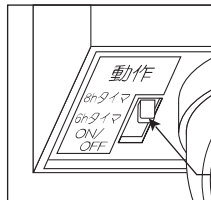
注) 「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

〈右側〉



「暗」又は「明」になっている

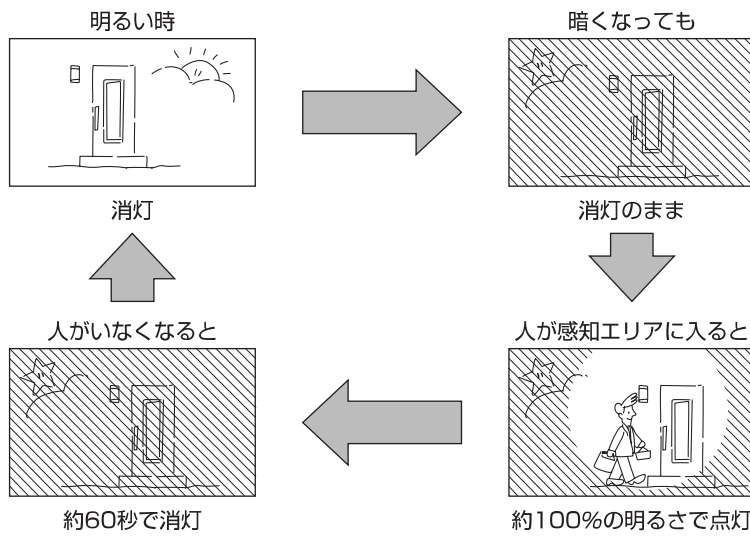
〈左側〉



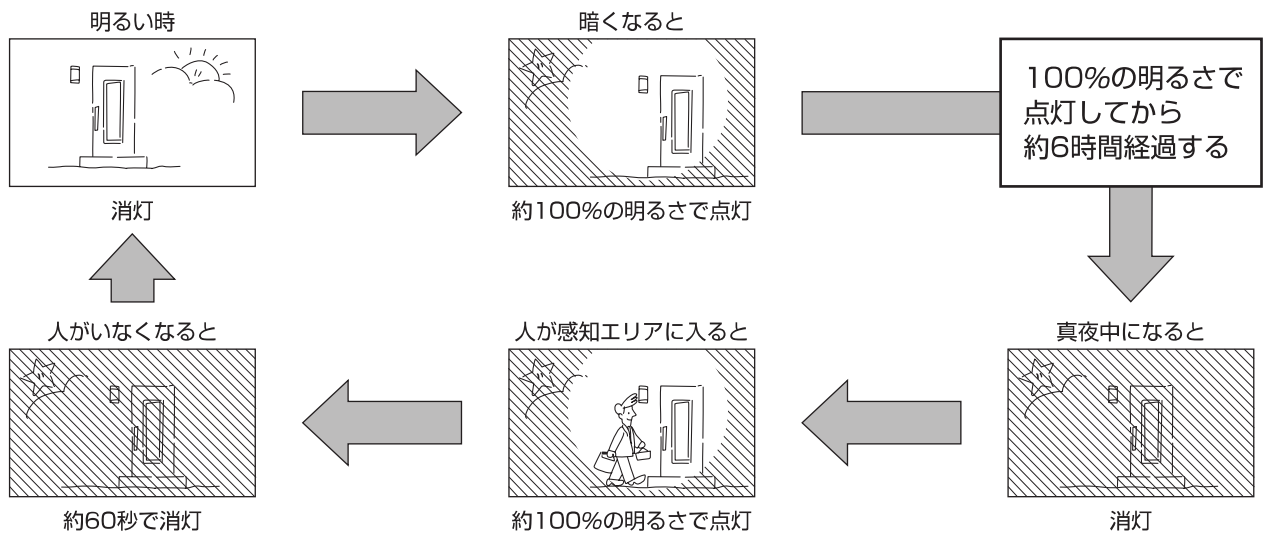
「8hタイマー」に合わせる

2. センサー左側の「動作設定」のツマミを「8hタイマー」に合わせる。

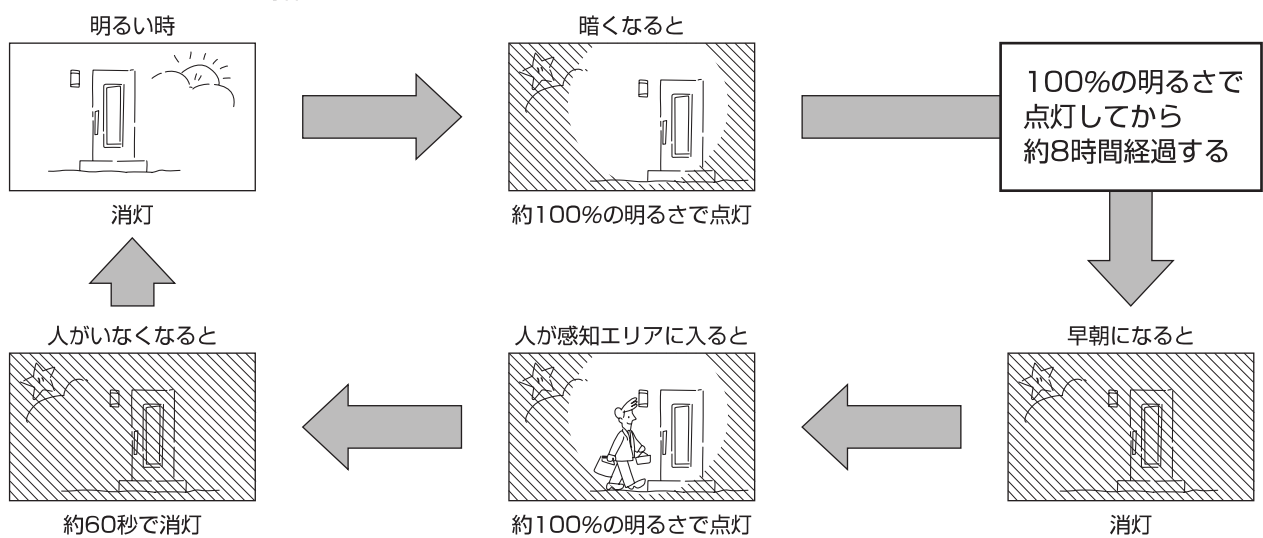
〈ON/OFFモードの動作〉



〈6hタイマーモードの動作〉



〈8hタイマーモードの動作〉



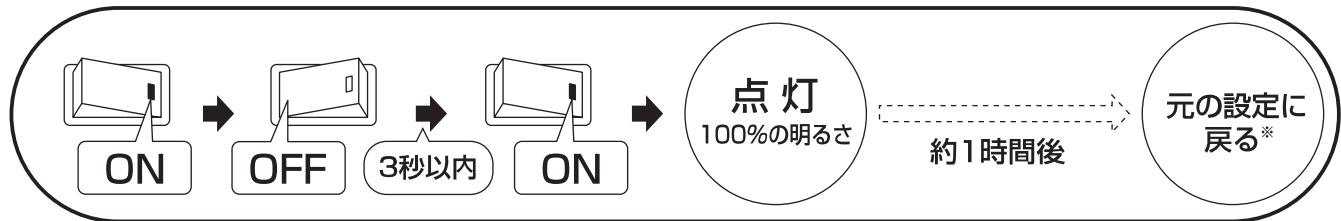
「強制ON」モード ランプを強制的に点灯させたいとき

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

ランプを強制的に点灯させるとき (「強制ON」モードで使用するとき)

① 壁スイッチを「ON」にする。(すでに「ON」の場合はそのまま)

② 壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。

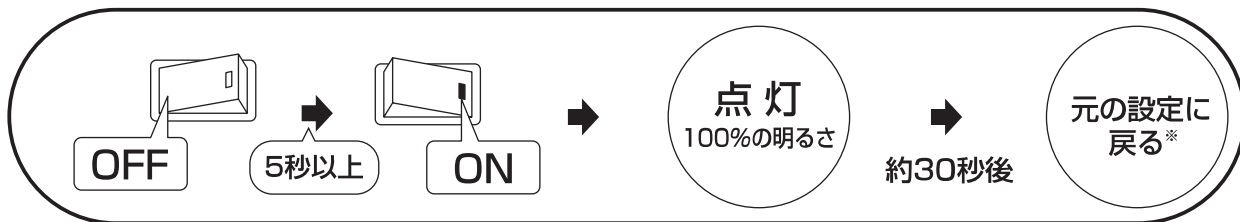


注) 上記壁スイッチ操作を行うと、周囲の明るさに関係なく約1時間連続点灯します。

元の設定に戻るとき (使用していた設定状態にすぐに戻したいとき)

① 壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

② 壁スイッチを「ON」にする。



注) 上記壁スイッチ操作を行うと、周囲の明るさに関係なく壁スイッチを「ON」にした直後は約30秒間ランプが点灯し、その後、元の設定に戻ります。

※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。
(設定内容により異なる)

修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- 処置をした後でも異常があるときは**必ず壁スイッチを「OFF」**にし、お買い上げの販売店、工事店、または当社までご連絡ください。

現 象		考えられる原因		処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。（「強制ONモード」）		「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上たってから「ON」にしてください。
	明け方	「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。		朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
		「動作設定」のツマミが「8hタイマ」になっている。		「動作設定」のツマミを「6hタイマ」にしてください。
	明るいつき	照明器具の取付場所が薄暗い。（昼間でも暗い時がある。）		「6hタイマーモード」「8hタイマーモード」でご使用の時は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを点灯させることがあります。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上たってから「ON」にしてください。
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。		
		センサーの感知部を傘、手などで覆ってしまった。		
感知エリアに人がいるのに点灯しない	夕方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。		暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
	暗いつき	ランプが切れている。		新しいランプに交換する。（→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。）
		ランプが緩んでいる。		ランプを締め直す。（→照明器具の取扱説明書をご参照ください。）
		壁スイッチが「OFF」になっている。		壁スイッチを「ON」にする。
		センサーの感知部に他の照明器具の光が当たっている。		1.センサーの感知部に当たる光を遮断してください。 2.感知エリア内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの感知部が汚れている。		センサーの感知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現象		考えられる原因		処置方法
感知エリアに人がいないのに点灯する	➡	壁スイッチを「ON」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	➡	壁スイッチを「ON」にした時は、 約30秒間100%点灯します。
	➡	暗いとき 感知エリア内に人以外の熱源がある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど)	➡	1. 感知エリアを調整する。 (→初めて使う時をご参照ください。) 2. 熱源を取り除く。 感知エリア内に左記の例のような ものがあれば、周囲の温度変化を 感知し、センサーが動作すること があります。
感知エリアに人がいるのに消灯する	➡	センサー右側の「点灯照度設定」の ツマミが「テスト」になっている。 (約5秒間100%点灯し、その後消灯 する。)	➡	「点灯照度」のツマミを「明」又は「暗」 にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	➡	暗いとき 感知エリア内で人が静止している。	➡	静止している人は感知できません。
感知エリアが狭い	➡	暗いとき 雨の日に傘などで顔や手が隠れて いる。	➡	センサーは温度変化を感知するため、 左記の場合は感知しにくくなること があります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋を して肌肌露出部分が少ない。	➡	
		夏の暑い日などで周囲温度と人との 温度差が少ない。	➡	
		器具(センサー)に向かって正面 から近づいている。	➡	
				センサーの特性上、正面から近づく と感知しにくい時があります。 センサーの感知部を少しだけ左、 又は右に回転させてください。

クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください

- *保証書には電気部品の保証期間1年となっておりますが、1日20時間以上の長期間使用されている場合、保証期間は半年となります。
- *盗難、いたずら等への対処は致しかねますのでご了承ください。
- *当社は、万全の注意を払い、安全な製品をお届けするための管理を致しておりますが、ご不明な点、お気付きの点がございましたら、お買い求めの工事店、販売店へご連絡ください。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
ディーズガーデン 株式会社 傳來工房

DSL-MM4
2025.10A